

特長

DM-X はフルアップにしたアンプの音量をステージやスタジオ、自宅で演奏可能なレベルまで下げるトランス式減衰器です。ギターアンプのマスターボリュームを絞れば音量は下がりますがアンプの性能を十分に引き出すことはできません。又、従来の抵抗式やアッテネーター式減衰器では直流抵抗によるダンピングファクターの劣化で、線の細いやせた音になってしまいます。DM-X はトランス方式の採用により、直流抵抗は他方式の $1/80$ 以下 (16Ω・6dB 時) にすぎません。ですから音質を損なうことなく最適な音量で演奏することができます。

▼ 70%での使用例



各部の名称と機能



1 (%)

音量を調節するツマミです。100%から1%まで9段階に調節できます。なお数字は人間の聴感に補正した値ですので、実際の POWER はその2乗の積になります。

(例) アンプから100WがDM-Xに入力され、%ツマミを40%にセットした場合
 $100W \times (0.4)^2 = 100W \times 0.16 = 16W$ つまり $100W - 16W = 84W$ が DM-X で消費され、16W がスピーカーに送り込まれることになります。

(%)ツマミの数字	100	90	80	70	55	40	20	5	1
スピーカーに送られるパワー (W)	100	81	64	49	30	16	4	0.25	0.01

▲ 100Wアンプの場合

各部の名称と機能

2 P H O N E / L I N E

OUT : ラインアウトとしてミキサーに送ったり、ヘッドフォンを接続する端子です。

LEVEL : OUT 端子だけの出力レベルボリュームです。

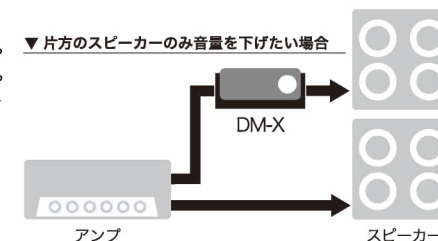
3 f r o m A M P .

アンプの出力 (スピーカー端子) とスピーカーコードで接続してください。

4 t o S P E A K E R

スピーカーとスピーカーコードで接続してください。
 スピーカーは1本だけでも2本でも使用できます。

又、2本のスピーカーを使用して、片方のスピーカーのみ音量を下げたい場合は右図のように接続して下さい。



使用上のご注意

- 1 アンプのゲイン、ボリューム、マスターボリュームなど全てのツマミを最大にするなど、アンプの能力を超えた状態が続くと、出力が上がり過ぎて発振状態を招き、過大な負担によってアンプが故障する恐れがありますのでご注意ください。アンプとスピーカー間に DM-X を接続して100%位置で試奏し、発振のない実用可能なセッティング (ゲイン、ボリューム、マスターボリュームなど) を決め、それ以上ツマミを上げないようにして、DM-X の%コントローラーで適度な音量に下げてください。
- 2 大出力で長時間使用すると本体が熱くなりますのでご注意ください。又、本体の上に物を乗せないで下さい。
- 3 DM-X にスピーカーを接続しないで、ラインアウト端子だけで使用する場合は%ツマミを1%の位置にして下さい。
- 4 アンプにインピーダンス切換器がある場合は、DM-X を接続しても接続前と同じインピーダンスに設定したままでご使用下さい。

主な仕様

- 減衰方式: 8点タップ・トランス式 ●定格入力: 100W ●アンプ適合インピーダンス: 4~16Ω
- スピーカー適合インピーダンス: 4~16Ω ●周波数特性: 20Hz~20KHz (-3dB) ●DCR: 最大0.2Ω (1%時)
- 減衰量: 100%(100W)・90%(91W)・80%(64W)・70%(49W)・55%(30W)・40%(16W)・20%(4W)・5%(0.25W)・1%(0.01W) ※ () 内は100Wアンプ使用時の出力
- 入力: フォーンジャック×1 ●スピーカー出力端子: フォーンジャック×2
- ヘッドフォン/ライン出力端子: フォーンジャック×1 ●寸法: 194W x 127H x 218D mm ●重量: 4.1kg